

秋晴れの下で体育祭

10月14日（木）、1か月遅れとなっていた朝明中学校体育祭がさわやかな晴天の下、盛大に開催されました。今年は無観客、プログラムの精選による時間短縮など、多くの制約の中での開催となりました。それでも、限られた時間を有効に使い、各クラスで練習を重ねてきました。



そして、当日は「再生可能エネルギー ～太陽のように熱く盛り上がりたいよう～」のスローガンのもと、競技する人、クラスの仲間を応援する人など、会場全体が一体となって、短い中にも感動が伝わる体育祭となりました。

当初は開催も危ぶまれましたが、やはり、みんなで頑張る姿を見て、「やってよかった」と職員一同胸をなでおろしています。残念ながら直接ご参観いただけなかった保護者の皆さま、地域の皆さまも動画配信サービスでぜひご覧ください。

体育祭の結果

朝明流星群 優勝； 3年3組 ・ 2年5組 ・ 1年2組
全員リレー 優勝； 3年3組 ・ 2年5組 ・ 1年4組

全国学力・学習状況調査からみる朝明中生 その2

中学校数学

第2回目は数学を検証してみます。

◆ 基礎的な力が定着、図形が得意で関数が苦手？

数学では、無回答が少なく(全国平均より6.5%低い)、問題を最後まで解こうという意欲があることがわかります。また、「学習指導要領の領域」の「図形」の分野では7.2%、「評価の観点」の「数学的な見方・考え方」では3.5%、それぞれ全国平均よりも高い結果となっています。

一方、「学習指導要領の領域」の「関数」の分野では、全国平均より 1.0%低くなり、「評価の観点」の「数学的な技能」では、全国平均を 1.5%下回っています。これらは計算ミスが大きな要因と考えられています。

8 データの傾向を読み取り、批判的に考察し判断すること の設問では、データに基づいて不確定な事象を考察する場面において、「数学的に表現したことを事象に即して解釈すること」「解決の過程や結果を批判的に考察すること」「事象を数学的に解釈し、その根拠を数学的な表現を用いて説明すること」ができるかどうかをみています。

具体的にこの問題では、5月のA市のキャンプ場の過ごしやすさを判断するために、A市の気候について、調べたことを表やヒストグラムなどに整理して分析し、それらからデータの傾向をとらえる場面を設定しています。



目的に応じて資料を収集し、表やグラフに整理して情報を読み取り、代表値や資料のちらばりに着目してその資料の傾向を判断できるようにすることがねらいのこの問題に対して本校生徒は、全国平均と比べても高い正答率を示しています。そして、基礎的な力が定着した生徒に加え発展的な内容を理解した生徒が増えていることもわかります。

数学**8**(1)の正答率

本校平均	89.3%
四日市市平均	85.2%
三重県平均	84.3%
(全国平均)	83.0%

数学**8**(2)の正答率

本校平均	41.7%
四日市市平均	37.0%
三重県平均	38.3%
(全国平均)	36.8%

◆◆◆ 今後の改善点

日常生活や社会の事象を統計的に考察するためには、データを収集・整理し、傾向を捉えて説明する一連の活動の後、問題解決の過程を振り返り、処理の仕方を見直す場面を設定することが大切です。その上で、必要に応じて新たなデータを収集したり、視点を変えて整理したりして分析するという活動を今後も様々な場面で取り入れていく必要があります。また、関数分野の内容に課題があるため、数量関係に注目させながら問題を解き、その過程を大切にす

